

平成 29 年 10 月 11 日

豊富町長 工藤栄光 殿

小型・中型風車について以下のとおり要望書を提出いたしますので、
よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

代表理事 吉村 穰滋

(天塩郡豊富町字豊富東 2 条 5 丁目)

要望書

最近、国道沿いで新しく建設された小型風車を見かけるようになりました。私たちが把握している限りでは、稚内市で 20 基、遠別町で 34 基の小型風車（高さ 10m 程度）が建設され（別紙）、初山別村・羽幌町・苫前町にはこれよりも大きい 15 基の中型風車（高さ 30m 程度）が、稚内市でもつい最近に中型風車が 1 基建設されていました（別紙）。小型・中型風車は大型風車と違い規模が小さければ環境影響評価や許可手続きをほとんど必要としないため、環境への影響が審査されることなく、多くの地域住民が知らないまま、また行政の許可などの関与をほとんど受けることなく建設されてしまいます。稚内市では今後も小型風車が建設されるという話しも聞かれ、市街地の国道沿いには新たに中型の風車が建設されました（別紙）。

小型風車は高さこそ低いですが、低空で飛翔する小鳥等のバードストライクが懸念されます。また中型の風車は高さが 30m 程度なので、大型風車と同様に鳥類等のバードストライクが懸念されますし、環境や景観等への影響も懸念されます。中型・小型共に、国道沿いや住宅の近くなど人の生活圏に建設されている例が多いため、騒音などによる健康被害やブレードの落下などによる事故も心配されます。特に小型風車は住宅のすぐそばに建設されることもあり、近隣住民間で問題が起こる可能性があります。

環境影響評価による審査や許可を受けた大型風車でも現実に事故は起きています。たとえば、ブレードの落下は稚内市、羽幌町、苫前町などで起きました。羽幌町ではブレードが国道沿いの駐車帯に落下したため、のちに風車が撤去されましたが、近くに中型風車が新たに建設されました（別紙）。苫前町ではこれまで全国で最も多くワシの衝突が確認されていますが、現存の風車の周辺に新たに中型の風車が建設されました。このように過去の教訓が生かされず、無原則的に風車が建設されています。

豊富町は、西側に広がるサロベツの国立公園に生息する貴重な野生生物や雄大な景観を保全するために、国道 40 号線より西側には風車は建設しないという方針をこれまで堅持されてきたかと思います。これまでのところ豊富町内で小型・中型風車の建設を確認していませんが、他の自治体の例を見れば、環境影響評価などの建設に対する規制や基準がないため、今後、小型・中型風車が無秩序に建設される可能性があります。このような現状を懸念し、浜頓別町・枝幸町では、既に小型風車に関するガイドラインを策定しています。また、稚内市でも同様にガイドラインなどを策定しようと検討していると聞いています。

豊富町でも、環境の保全や景観の保護を含め、住民の安全安心な暮らしを守るため、また鳥類のバードストライクの防止を図るため、小型・中型風車の基準を定めるガイドラインの策定または条例の制定を要望いたします。

ご検討くださいますようお願いいたします。

別紙



遠別町の海岸沿いに建設された小型風車



初山別村の国道沿いに建設された中型風車



羽幌町の駐車帯の近くに建設された中型風車



稚内市国道市街地沿いに建設された中型風車建